

見積入力

見積入力では得意先へのお見積りを入力し見積書を発行することができます。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

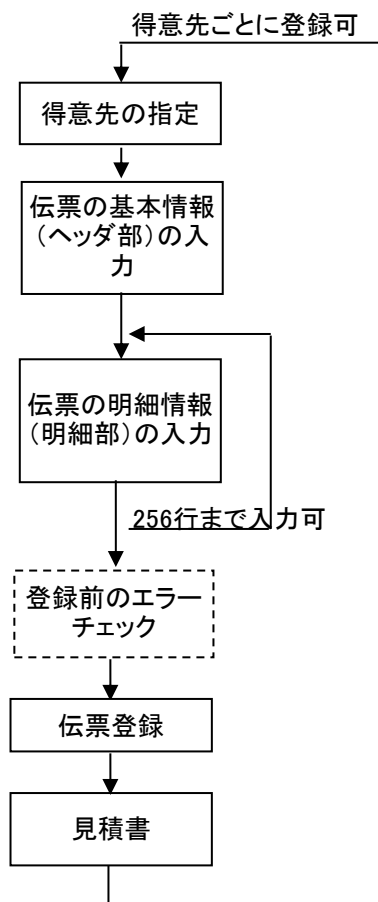
1) 見積入力概要

Point

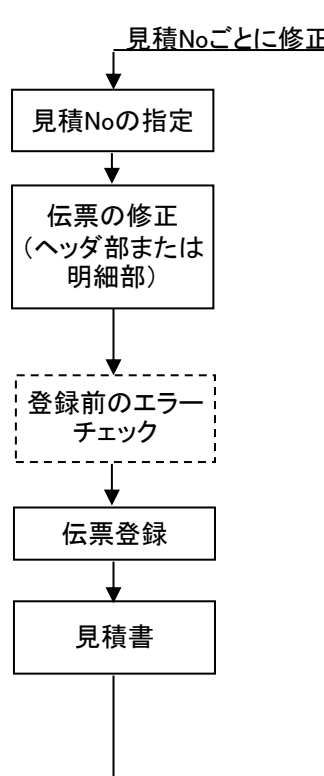
- ・見積りを入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 見積書の発行ができます。登録した見積り伝票は受注伝票にリレー入力できます。
 - ② 見積りから受注、または失注へリレー処理することにより、見積り残管理が行えるようになります。
 - ③ 見積り明細表が作成でき、多角度からの見積りデータ集計や分析ができます。
- ・見積り伝票が受注リレーされると画面上部に「受注あり」と表示されますが、見積り伝票から受注伝票へのリレーは何度でも可能です。(見積り残管理はしていません)

・見積り入力の操作の流れ

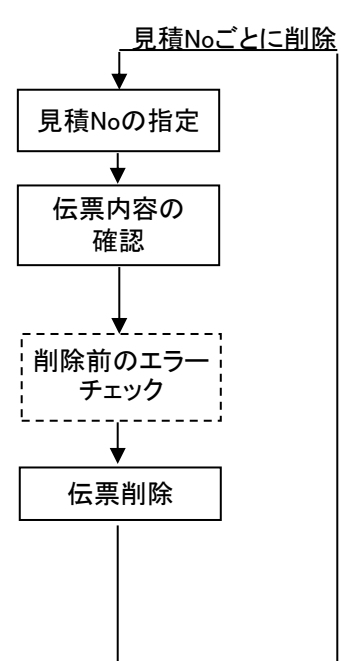
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※伝票機能設定で見積り書の即時発行がOnの場合、伝票登録時に即時発行確認のメッセージが表示されます。

※見積りを受注または失注に変更する場合は、伝票を修正で開き、「状況」を受注または失注に変更し伝票更新します。

2) 見積伝票の受注リレー

受注入力で見積Noを指定して受注伝票に見積伝票の内容をリレー入力できます。

受注リレーされた見積伝票は

- ・ 見積入力画面上部に「受注済み」と表示されます。
- ・ 受注リレーされた明細行は「受注済」チェックがONで表示されます。

The screenshot shows the '見積入力' (Estimate Input) window. At the top, it says '見積入力'. Below that, there's a section for '伝票指定' (Invoice Specification) with a dropdown for '見積No' (Estimate No.) showing '7'. To the right, there is a blue button labeled '受注済み' (Accepted), which is highlighted with a red rectangular box.

行No	削除	生注	伝区	商品コード	品名
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	見積	0001	
			<input checked="" type="checkbox"/>	商品	
			見積	0100	

- ・ 「状況」を見積から変更できなくなります。
- ・ 見積の伝票削除をすると、受注の伝票も削除されます。

見積からの受注リレーは受注→売上リレーほど厳密には管理されません。

- ・ 受注リレー後も見積伝票は行追加、削除、数量変更、商品変更などの変更ができます。また、受注入力側でも商品コード、数量を見積伝票とは違ったものに変更できます。
- ・ 明細行の「受注済」チェックを見積入力でOFFに変更することができます。
- ・ 受注リレー済みの見積伝票を再度受注リレーすることができます。
 - ※ 受注リレー済みの見積伝票を再度受注リレーした場合、リレー済み明細行は受注入力画面で削除チェックONの状態が初期表示されます。再度受注リレーしたい場合は削除チェックをOFFにして登録できます。
- ・ 見積残数の管理、集計はできません。
 - ※ 明細行の受注済みチェックにより、受注リレーされた明細かどうかの判断はできます。

4) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
見積No	見積伝票のNoです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
得意先	見積をする得意先のコードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) Point ・ 伝票登録後に得意先を変更することはできません。 変更する場合は「複写」ボタンで別の得意先を指定して伝票複写にて新規作成後、元の伝票を削除してください。 ・得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正可能です。見積書には伝票の得意先名が印字されます。 ・受注伝票にリレーした場合、変更した得意先名が受注伝票に引き継がれます。 ・ 得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
税処理区分	得意先マスタに設定している税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。
見積日	見積日(伝票日付)を入力します。 Point ・見積日には、運用設定で指定した受発入力期間制限を越える日付は指定できません。伝票登録時にエラーチェックされます。
状況	仮見積/見積/失注 から選択します。 状況が「見積」の伝票のみ、受注伝票にリレーできます。 Point 仮見積・・・仮の見積。同一案件を複数見積した場合などに使います。 見積・・・見積書が発行できます。受注伝票にリレーできます。 失注・・・登録したが受注に繋がらなかった案件などに使います。
受注確度	文字や数字を指定して自由に入力できます。

項目名称	説明
担当者	<p>営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は得意先マスタの営業担当者(またはログイン担当者。運用設定で指定)です。</p> <p>事業所名は担当者横に担当者の事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更されても伝票の事業所は変更されません。</p>
ご担当者名	<p>得意先のご担当者名を入力します。 見積書に印字されます。</p>
納入先 コード 納入先名1 2、〒、 住所1、2、Tel	<p>納入先を指定する。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先マスタにて、得意先とひもづけした納入先が1件以上登録されている場合、新規伝票入力では、使用頻度の1番高い納入先が自動で初期表示されます。 ・納入先はマスタより必ず選択する必要があります。 名称や住所など、直接入力も可能です。 ・マスタより選択後に、納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタ内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示され、「はい」にて表示をクリアすることができます。
地区	<p>地区を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタにて地区を指定していた場合、新規伝票入力では、その内容が初期表示されます。
件名	<p>見積書などの印字される件名を入力します。 入力不要な場合は、空白のままです。</p>
支払条件	<p>支払の条件を入力します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p>
納入期限	<p>納入の期限を入力します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p>
有効期限	<p>有効期限を入力します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p>
摘要 コード 摘要名1,2	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名1、2に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名1、2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。 マスタの内容は変更されません。 ・海外文書では Terms の欄に出力されます。
メモ入力 (ボタン)	<p>伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。</p>

4) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、見積内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 256行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (チェック)	入力した行を削除する場合マウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。
切断	鋼種形状寸法別単価マスタを登録している場合に切断単価と材料単価の初期値を選択します。 0... (鋼種形状寸法別単価登録の) 売上単価 1... (鋼種形状寸法別単価登録の) 売上単価+切断単価 2... (鋼種形状寸法別単価登録の) 切断単価
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 ・見積 ... 通常販売する商品を指定する場合に選択します。 ・値引 ... 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。 単価を入力すると自動でマイナス表示になります。 ・経費 ... 諸経費を入力する場合に選択します。 ・摘要 ... 摘要行を入力する場合に選択します。 品名、品名2と備考のみ入力できます。 ・小計 ... 計行が作成され、原価と金額の合計が自動集計されます。 中計 ・小計改 ... 計行が作成され、原価と金額の合計が自動集計されます。 中計改 見積書発行時に改ページされます。

項目名称	説明
商品コード	見積する商品コードを入力します。伝区が「摘要」以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。
品名	見積する商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。
品名2 (型番、規格)	見積する商品名の補足情報を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要やメモの場合は任意文字列を入力します。 品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
寸法1～3 長さ	商品コード入力時にマスタに登録している寸法と長さ初期表示され、 表示後訂正可能です。 形状マスタに設定している重量計算区分に応じて単位重量が自動計算されます。
公差	寸法に対する公差を入力することができます。 公差を使用する場合は運用設定の「公差を使用する＝する」に設定してください。
単位重量	形状マスタに設定している重量計算区分に応じて自動計算されます。 表示後訂正も可能です。 重量計算区分が、「単位重量×員数」「単位重量×長さ×員数」の場合は商品マスタの 単位重量が表示されます。

項目名称	説明
倉庫	ヘッダの担当者の事業所に設定した倉庫が初期表示されます。 倉庫を変更する場合は、F4またはスペースキー、もしくは▼を押して表示される倉庫参照画面から倉庫を選択することができます。 F1キーを押すと、倉庫別在庫一覧画面を表示し、実在庫と有効在庫を確認することができます。
明細納期	納期を行ごとに年月日で入力します。 Point ・明細納期には受注日以降の日付しか指定できません。 ・在庫計算時の納期は、ヘッダ納期ではなく、この明細納期が使用されます。 ・商品マスタの原価計算法に倉庫別移動平均を指定している場合、この明細納期が使用されます。
原 (原単価区分)	P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの原単価区分の値が初期表示されます。
単 (単価区分)	P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの単価区分の値が初期表示されます。
員数	員数を入力します。 在庫管理する場合は員数入力がないと員数の在庫の増減はされません。 員数の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
重量	重量を入力します。 形状マスタの重量計算区分が「単位重量×長さ×員数」の場合は単位重量×長さ×員数で自動計算され、それ以外の場合は単位重量×員数で自動計算されます。 重量で在庫管理する場合は重量入力がないと在庫の増減はされません。 重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
単位	商品マスタの単位が初期表示されます。 手入力または単位マスタに登録した内容を選択することが可能です。

項目名称	説明
見積原単価	商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価単価を「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」「LOT原価」の場合は在庫単価が初期表示されます。
見積単価	見積単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。 スペースまたはF4キーで単価計算画面が表示されます。 F3キーで単価履歴画面は表示されます。 詳細は操作マニュアルの「単価について」をご覧ください。
見積原価	明細の原単価区分の値によって自動計算されます。 原単価区分「P」の場合： 原単価 × 員数 原単価区分「K」の場合： 原単価 × 重量 見積金額と見積原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
見積金額	明細の単価区分の値によって自動計算されます。 単価区分「P」の場合： 見積単価 × 員数 単価区分「K」の場合： 見積単価 × 重量
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
仕入先	受注伝票にリレーした際に同時発注をおこなう場合は仕入先を指定します。 商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。
マーク (ボタン)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。
種別	商品マスタに設定してある商品種別(見積)が初期表示されます。 表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「見積(表示)」に「使用する」を設定している種別が表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。 Point ・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
税区分	商品マスタに設定している課税区分を商品コード入力時に初期設定します。 手入力に変更可能です。

5) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
<u>粗利益率</u>	<p>伝票全体の 粗利益 = 見積金額計 - 見積原価計、率 = (粗利益 / 見積金額計) × 100 で計算され表示されます。 画面には下8桁まで表示されます。 失注行は計算に含まれません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の小数点以下は四捨五入となります。
金額計	伝票全体の受注金額合計が表示されます。 失注行は計算に含まれません。
税額	<p>伝票毎外税の得意先の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が 計算され表示されます。表示されている消費税額を手入力で修正することも可能です。 画面には下7桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して 登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p>変更前... 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を 受注金額にセットして、端数調整する。</p> <p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が 計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p> <p>伝票毎外税は以下の通りです。 伝票毎外税...明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の 合計金額で算出します。</p>
合計金額	金額計 + 税額 の値が表示されます。

6) 見積伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新できません。

削除

- ・受注リレー済みの見積伝票は削除できません。
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。

新規、修正、削除 共通

- 商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量 + 受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。

7) 与信チェック

見積受注入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

- 与信限度額チェックをする …… 登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)
- 営業債権で与信チェックをする …… 与信限度額をチェックをするとき、受注残を含めるか含めないかを指定します。

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。

得意先債権情報			
H0001	与信限度額	560,000	
伝票外税			
売掛残高	779,328	買掛残高	102,000
未落受手	0	未落支手	6,000
売掛債権	779,328	買掛債務	108,000
		前受残高	0
純売掛債権 671,328			
(売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高)			
受注残	119,232		
営業債権	790,560		
(純売掛債権 + 受注残)			
閉じる (Esc)			

得意先債権情報画面

Point

- 消費税は全て調整税で集計されます。
- 買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。
- 発注入力には与信チェックはありませんが、「その他」-「仕入先債務情報の表示」からほぼ同じ画面が表示されます。
- 仕入先債務情報では、伝票日付(発注日)時点の、一括税が集計されます。
- 仕入先債務情報に表示される売掛残高などは、仕入先マスタ相殺得意先に設定されている得意先の金額を集計しています。

項目名称	説明
与信限度額	与信限度日までの与信限度額 (得意先マスタに 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常+臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額 Point 伝票日付(受注日) ≤ 期日 の場合、未落ちと判定されます。
売掛債権	売掛残高 + 未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ相殺仕入先の未落支払手形
買掛債務	買掛残高 + 未払残高 + 未落支手
純売掛債権	売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高 Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない
受注残	登録済みの全受注残金額 (調整税で集計) Point 受注日は関係ありません。登録されている全受注伝票が対象です。 税込み金額です。税処理区分が「請求時外税」の場合、調整税(みなし税) が含まれます。
営業債権	純売掛債権 + 受注残金 Point 運用設定が以下の設定の場合、営業債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 営業債権で与信チェックする → する